

人と魚と海のネットワーク
香川県漁連ホームページ
<http://www.jf-net.ne.jp/kagyoren/>



JF
香川漁連

高松市北浜町 8-25
TEL 087-825-0350
FAX 087-851-0699

讃岐さーもん販売開始！

香川県の春のプライドフィッシュである讃岐さーもんの販売が4月2日より始まりました。今年は新型コロナウイルスの影響もあり、店頭でのPRイベントを行っておりませんが、香川県の“ご当地サーモン”として知名度も上がっています。販売期間は5月16日まで、数量は100tの生産予定です。



令和元年度乾海苔共販結果

本年度は、高水温による本張りの遅れ、一部の漁場での食害被害、生理障害等の影響で、12月の生産枚数は1,620万枚と前年並みの生産量となりました。

1月に入ってから、高水温の影響で食害被害が一部の漁場でありましたが、食害防除の効果もあり、県内全体で色のある製品が生産されました。3月に入っても一部の漁場を除いては、極端な色落ちも無く終了しました。

価格面では全国的な本張りの遅れによる品薄の影響を受けて前年にも増して強い相場展開が続きました。

結果、共販枚数は3億3,765万枚（前年比132%）共販全額は42億3,542万円（前年比137%）平均単価12円54銭（前年比49銭高）という結果になりました。

かがわ漁業塾開講式

4月16日（木）、第6期「かがわ漁業塾」が開講いたしました。開講式は新型コロナウイルス感染対策としてオリエンテーションのみが行われました。今年度は2名の申込みがあり、これからの1年間、漁業法や水産市場の仕組み等の座学と、底びき網漁やハマチ養殖等様々な実技研修を行い、その後県内で水産業への就業を目指します。オリエンテーションでは、県内出身の山田悠介（やまだゆうすけ）さんが出席され、入塾承諾書の授与が行われました。

サワラの初競り！！

4月21日（火）瀬戸内に春を告げる県産サワラの初競りが高松市中央卸売市場にて行われました。20日に播磨灘などでサワラ漁が解禁され、水揚げされたサワラ約2200匹が入荷。大豊漁だった昨年より2千匹余り減少しましたが、過去5年間では2番目に多い数でした。今年は新型コロナウイルス感染予防のため、関係者以外の入場を制限して競りが実施されました。ホテルや飲食店の客足が遠のいていることから、競りにはスーパーなどの担当者の姿が目立ったそうです。

入荷したのは、体長70～80cm、重さ3～4kg程度の2、3歳魚が中心で、今年の最高値は例年より3,000円程高い、1kg8,000円でした。サワラ漁は5月上旬にピークを迎え6月末頃まで続く予定です。



サワラの初競りの様子

ニューフェイス紹介

アンケート項目

- ① 年齢 ③ 趣味
② 出身学校 ④ これからの抱負

<加工事業部

加工販売課>

あや 綾 こうすけ 宏介



- ① 22歳
② 阪南大学
③ 音楽・サッカー・ゲーム
④ 早く仕事を覚え、慣れていき、丁寧に仕事をこなしていきたいと思います。

<販売事業部

販売課>

たかはし 高橋 りょう 令



- ① 22歳
② 岡山商科大学
③ 映画鑑賞、旅行、ドライブ
④ まだまだ分からない事も多いですが、できるだけ早く仕事を覚えて頑張りますのでよろしくお願いします。

<販売事業部

引田加工場>

かつさい ひろむ 葛西 弘武



- ① 22歳
② 水産大学校
③ 釣り
④ できるだけ早く仕事を覚えられるよう頑張りますのでよろしくお願いします。

「香川県緊急事態」宣言

知事から県民の皆様へのお願い

香川県におきましては感染者が急増しています。新型コロナウイルス感染症の拡大を抑えるためには一人一人の行動が大切です。自分だけなら大丈夫という意識を変え、ご家族や大切な人を守るため、次のことを強くお願い申し上げます。

1. 人との接触をできるだけ減らしてください。
2. 不要不急の外出を控えてください。
(生活上必要な物の買い出しや、やむを得ない仕事等以外の外出を控えてください。感染拡大地域との不要不急の往来を控えてください。)
3. やむを得ない外出の場合も、人混みを避けるとともに、人との間隔をなるべく空け、3密（密閉・密集・密接）は絶対に避けてください。
4. 体長が悪い時は、勇気をもって仕事を休んでください。
5. こまめな手洗いや咳エチケットを守るとともに、バランスの良い栄養、十分な睡眠時間、適度な運動をとるようにしてください。



また、緊急事態宣言の対象地域との不要不急の往来を控える、対象地域から本県への来県・帰県も控えていただきたいと思います。やむを得ず、来県・帰県された方はその後2週間程度、不要不急の外出を控えてください。風邪症状や発熱が続いている場合は、まず「帰国者・接触者相談センター」に相談してください。またかかりつけ医療機関を受診したいと思ったとき、事前に電話して指示に従ってください。